

かわさき

# 川崎こどもニュース

編集 川崎教育文化研究所  
発行 (一財)川崎教職員会館  
川崎市中原区下沼部  
1709-4  
TEL 044-433-9100

子どもたち一人ひとりが  
市民です!



20年前、日本初の「子どもの権利に関する条例」が川崎市で作られました。条例は「子どもたちは生き生きと、ありのままの自分でいられ、幸せに暮らすことができる」と定めています。子どもたちは愛され、守られ、応援してもらえる、と約束されているのです。

条例をもとに、「子ども会議」が作られ、応募した委員が活動しています。川崎こどもニュースでは、1年を通じて子どもたちのとりくみを紹介してきました。

## 川崎市子どもの権利に関する条例にある7つの権利

- ① 安心して生きること
- ② ありのままの自分でいること
- ③ 自分を守り、守られること
- ④ 自分を豊かにし、力づけられること
- ⑤ 自分で決めること
- ⑥ 参加すること
- ⑦ 個別の必要に応じて支援を受けること

## 川崎市子ども会議のとりくみ報告

### Kawappyチーム

今年度は川崎を支える人に注目して取材してきました。キングスカイフロントを取材したときの“キングスカイフロント新聞”ができました。川崎市子ども会議のホームページの載っているの、ぜひ見てください。

### Eduvariチーム

学校の居心地について考え、フリースクールの取材をしたり、調べたりしたことをまとめています。

### エコチーム

食品ロスの問題から給食の残食に注目し、調査や活動を行っています。栄養士さんにインタビューをし、調べたことをまとめています。

エコキャップの回収も継続的に行っています。

## 子ども会議とは・・・

子どもの権利に関する条例第4章 子どもの参加 第30条に子ども会議について定められています。子ども会議は、子どもが自由に意見を言うことができ、その意見を自分たちでまとめていく会議です。この会議でまとめられた意見をいろいろな所に伝えるに行きます。市長も、その意見を大切にしていきます。





## しちょうほうこくかい 市長報告会へむけて…

げんざい<sup>げんざい</sup>のこども<sup>こ</sup>委員<sup>いいん</sup>(小4<sup>しょう</sup>~高3<sup>こう</sup>)は18人<sup>にん</sup>が活動<sup>にん</sup>しています。そのうち5人<sup>にん</sup>が今年度<sup>こんねんど</sup>から新<sup>あた</sup>しく参加<sup>か</sup>しています。いまは、3月28日<sup>がつ</sup>(月)に行われる福田市長<sup>ふくだしちょう</sup>さんへの報告<sup>ほうこく</sup>に向けて、各<sup>かく</sup>グループ<sup>ぐ</sup>でどんなこと<sup>つた</sup>を伝えたいのか<sup>かんが</sup>考え、活動<sup>かつどう</sup>してきたこと<sup>かつどう</sup>をまとめています。川崎市子ども<sup>かわさきしこ</sup>会議<sup>かいぎ</sup>のメンバー<sup>め</sup>で、行政区<sup>ぎょうせいく</sup>の子ども<sup>こ</sup>会議<sup>かいぎ</sup>の想<sup>おも</sup>いも背負<sup>せお</sup>って市長<sup>しちょう</sup>さんへ意見<sup>いけん</sup>を伝え<sup>つた</sup>てきます!!

## ねんど 2021年度かわさき子ども集<sup>こ</sup>会<sup>しゅうかい</sup>は



## かいさい オンラインで開催<sup>かいさい</sup>されました!!

2022年2月20日(日)に「かわさき子ども集<sup>こ</sup>会<sup>しゅうかい</sup>」が  
開催<sup>かいさい</sup>されました。コロナウイルス感染<sup>かんせん</sup>拡大<sup>かくだい</sup>防止<sup>ぼうし</sup>の観点<sup>かんてん</sup>か  
ら、昨年度<sup>さくねんど</sup>は書<sup>しょ</sup>面<sup>めん</sup>での交<sup>こう</sup>流<sup>りゅう</sup>でしたが、今年度<sup>こんねんど</sup>はオンライ<sup>おんらい</sup>ン  
を活用<sup>かつよう</sup>して、画<sup>が</sup>面<sup>めん</sup>上<sup>じょう</sup>で話<sup>はな</sup>をしたりお互<sup>たが</sup>いの顔<sup>かお</sup>を見<sup>み</sup>たりし  
ながら交<sup>こう</sup>流<sup>りゅう</sup>をすることができました。川崎市子ども<sup>かわさきしこ</sup>会議<sup>かいぎ</sup>、  
各行政区<sup>かくぎょうせいく</sup>の子ども<sup>こ</sup>会議<sup>かいぎ</sup>、ミニカワサキ、青少年<sup>せいしゅん</sup>育成<sup>いくせい</sup>連盟<sup>れんめい</sup>な  
どの各団体<sup>かくだんたい</sup>の活動<sup>かつどう</sup>紹<sup>しょう</sup>介<sup>かい</sup>から始<sup>はじ</sup>まり、川崎市<sup>かわさきし</sup>をもっと素<sup>す</sup>敵<sup>てき</sup>な  
街<sup>まち</sup>にしていくためにはどうしたらよいか<sup>はな</sup>を話し合<sup>あ</sup>う中で、子ども達<sup>しちょう</sup>が、市長<sup>しちょう</sup>さんへ伝え<sup>つた</sup>たいこと  
やそれぞれの想<sup>おも</sup>いをまとめました。



かわさきし<sup>かわさきし</sup>と市内<sup>しな</sup>7区<sup>く</sup>の子ども<sup>こ</sup>会議<sup>かいぎ</sup>は、一<sup>いっ</sup>緒<sup>しょ</sup>に活動<sup>かつどう</sup>してくれ<sup>る</sup>メンバ<sup>ー</sup>を大<sup>だい</sup>募<sup>ぼ</sup>集<sup>しゅう</sup>!!

とあ<sup>とあ</sup>わせは事務<sup>じむきょく</sup>局<sup>くわ</sup>へ。詳<sup>かつどう</sup>しい活<sup>ようす</sup>動<sup>ようす</sup>の様<sup>ようす</sup>子はホ<sup>み</sup>ームペ<sup>ー</sup>ージをぜ<sup>ひ</sup>ひ見<sup>て</sup>くだ<sup>さ</sup>い。

きょういくいんかいしょうがいがくしゅうすいしんか<sup>きょういくいんかいしょうがいがくしゅうすいしんか</sup> かわさきしこ<sup>かわさきしこ</sup> かいぎじむきょく<sup>かいぎじむきょく</sup>  
教育<sup>きょういく</sup>委員会<sup>いんかい</sup>生涯<sup>しょうがいがく</sup>学<sup>しゅう</sup>習<sup>すい</sup>推<sup>すい</sup>進<sup>しん</sup>課<sup>か</sup>・川崎市<sup>かわさきし</sup>子ども<sup>こ</sup>会議<sup>かいぎ</sup>事務<sup>じむきょく</sup>局<sup>くわ</sup>

TEL : 044-200-3565

FAX : 044-200-3950

